

科目名	母性看護Ⅱ (妊婦・産婦・褥婦および新生児の正常と異常)				DP1、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 母子看護	時間数	11時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	マタニティサイクルにある対象者の妊娠・分娩・産褥の生理を知り、正常な経過を理解するための知識を学ぶ。また、異常時の特徴を学ぶ内容とした。						
到達 目標	1. 妊娠・分娩・産褥・新生児の正常な経過が理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥期の異常時の特徴が理解できる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～5	正常な妊娠・産婦・褥婦 および新生児	妊娠（妊娠の生理、妊婦の診察） 分娩（分娩の生理、分娩の監視、分娩準備教育と 産痛緩和療法（自然分娩法・精神予防性痛分娩 法・ラマーズ法・その他の方法）、産科麻酔 産褥（産褥の生理） 新生児（新生児の生理）				講義	外部講師
	妊娠・産婦・褥婦および 新生児にみられる異常	妊娠の異常（ハイリスク妊娠） 妊娠初期の異常、妊娠中・後期の異常、妊娠中の母 体・胎児に影響を及ぼす疾患（感染症・心疾患・糖 尿病・腎疾患・婦人科疾患） 分娩の異常 胎児機能不全、胎位・胎盤の異常、産道の異常、娩 出力の異常、分娩時の母体損傷、児娩出後の異常、 産科ショック・播種性血管内凝固（DIC）、異常分娩 時の産科手術、分娩誘導 産褥の異常 産褥熱、子宮復古不全、産褥静脈血栓症、乳腺炎、 乳汁分泌不全、産褥期精神障害 新生児の異常 新生児仮死、感染症、分娩による児の損傷、重症黄 疸、新生児メレナ、嘔吐、臍部の異常、低出生体重 児、先天異常					
6	試験（1時間）					試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 14 母子看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							